



旧宮村での現地ロケ撮影！ 住民エキストラ多数出演！ 小野さつき訓導の村葬実録！

大正11年制作“小野さつき訓導殉職事故を伝える映画”特別公開

小野さつき訓導遺徳顕彰映画上映会

《内容》

小野さつき訓導映画上映

作品名：人生之花 殉職訓導噫々小野女教員

※映画の長さは30分ほどです。上映の前後各10分ほどの解説を行います

※上映するのは大正11年制作の映画フィルムをダビングしたDVD版となります

《上映日時》

6/19 (日)

上映① 9:30～10:20 入場締切 9:20

上映② 11:00～11:50 入場締切 10:50

上映③ 13:00～13:50 入場締切 12:50

上映④ 14:30～15:20 入場締切 14:20

※各回とも内容は同じです

《会場》

ございんホール

(蔵王町ふるさと文化会館)

全席自由 各回先着225名

《主催》

蔵王町教育委員会

生涯学習課 ☎0224-33-2018

令和4年度蔵王町文化財保護周知啓発事業

新型コロナウイルス感染症への対策にご協力ください

○会場内ではマスクをご着用ください ○体調の悪い方は来場をご遠慮ください ○入場の際、自動的に体温を測定します。基準値を超える体温の方は入場をお断りいたします ○入場の際、氏名・連絡先を控えさせていただきます ○主催者の指示に従いソーシャルディスタンス維持にご協力ください ○感染者の発生状況によって、予告なく上映会を中止する場合がございます

小野さつき訓導 遺徳顕彰映画

大正 11 年 7 月 7 日、白石川の河原で溺れる児童を救おうとして殉職した若き女性教師小野さつき。全霊をかけて職責に殉じた彼女の行動と遺族が見せた他者を思いやる心は、多くの人々の心を打ち、彼女の行動を讃え、伝えるため、日活や松竹をはじめ大小の映画制作者がこの出来事を映画化しました。しかし、こうして制作された映画たちは時の流れとともに失われ、その内容も把握できなくなっていました。

平成 27 年、北海道の古い映画館の倉庫から、彼女の遺徳を伝える映画フィルムが発見されました。制作者不明、全部で 3 巻組以上と思われる作品のうち 1・2 巻目のみ残されていたこのフィルムを、小野さつき遺徳顕彰会が入手しました。顕彰会では、劣化が進み映写に耐えなくなっていたフィルムをコマ撮り編集して DVD 化し、大正 11 年に制作された映画を現代に蘇えらせました。

映画には、宮地区での現地ロケによる再現映像と、多くの人々が参列した村葬の実録が収められていました。このフィルムは、当時この出来事がどう捉えられていたかを示す物証であり、また、大正期の郷土の様子や人々の姿を写した唯一と言っても過言でない貴重な映像資料でもあります。町教育委員会ではこの映画フィルムの文化財としての価値や歴史資料としての価値を重んじ、蔵王町指定文化財に指定して長く後世へと保存していくこととしました。小野さつき訓導殉職から 100 年が経過した今、多くの方々にこの出来事を深く理解していただき、映画フィルムの資料的価値を知っていただくため、年に一度の特別公開を行います。

指定名称	小野さつき訓導遺徳顕彰映画フィルム 附 映像 DVD
指定区分	蔵王町指定文化財
種類	有形文化財・歴史資料（映画フィルム）
指定年月日	平成 29 年 3 月 31 日
所有者	蔵王町教育委員会
管理者	蔵王町教育委員会
概要	本文化財は、大正 11 年（1922）に制作された小野さつき訓導の遺徳顕彰映画である。制作者不明。本来は 3 巻組以上と考えられるが 1・2 巻目のみ現存。内容は、現地ロケによる事故の再現映像と 7 月 14 日挙行の村葬の録画映像からなる。
価値	○大正末期の映画フィルムの現存自体が貴重である ○小野さつき訓導殉職事故に対する当時の社会の反響や風俗習慣を映像として把握できる貴重な資料である ○大正 11 年当時の宮地区の様子や人々の姿が映像として保存されている貴重な資料である